

京の茶室文化・数寄屋建築を支える 木の文化を巡るツアー

都を支える職人の技・自然共生の知恵の源流を辿る

千年近い時を経て受け継がれる、京都の特徴的な文化の1つと言える「茶室文化」「数寄屋建築」。これらは、「北山杉」等の徳勲的な森林を育ててきた林業の職人から、「京名栗」をはじめとした多様な表情で木材を製材・加工する匠、そして自然共生の精神のもと、多様な自然素材を活かして空間を彩る大工など、多様な職人の技・知恵によって支え続けられてきました。その背景にある歴史・文化性や職人の技・知恵や思い等に目を向けることで、古くて新しい“京の魅力”を創造してくれるものでしょう。

“木の文化”の源流である森林を出発点に、製材・加工、そして普段訪れることができない建築物まで、職人や専門家と歩むことで、京都が培ってきた歴史・文化性を学びます。

1/23-24

2020
THU-FRI

両日ともに **9:00~17:00** 集合場所:JR二条駅西口

定員: **20**名

料金:8,000円(税込) 23日:4,000円/24日:5,500円

(昼食代、見学代、資料代、保険代)

※両日とも貸切バスで移動します。

対象者:

ツアーの記録として映像撮影をさせていただきます。

旅行事業者・観光ガイド / 森林・環境活動をしている事業者・団体 / 木材・建築関係者
/ 行政・まちづくり関係者 / デザイン、ものづくり関係者 / 学生・意欲的に学びたい方

1日目:1/23(木)

亀岡市七谷川の広葉樹の森巡り、「磨き丸太」を産出する中川地域を訪れます。
北桑木材センター(京都市右京区京北)、京都北山杉の里総合センター(京都市北区)を見学します。
案内人:大ヶ谷 宗一氏(製材所・大ヶ谷林産代表) / 松本 吉弥氏(京都北山丸太生産協同組合理事)
/ 前田 清二氏(京都府森林組合連合会アドバイザー)

2日目:1/24(金)

原田銘木店(京都市右京区京北)、有斐斎弘道館(京都市上京区)
社寺建築 奥谷組(京都市南区)を見学します。

講師:桐浴 邦夫氏(京都建築専門学校副校長、建築史家)

※宿泊をご希望の方は別手配をしますので、お申込の際にお伝えください。

※1日のみの参加の方、観光事業者の方は別途お問い合わせください。 ※こちらのツアーはキャンセル料が発生いたします。

キャンセルポリシー

キャンセル料 (利用日を含まず)	旅行開始日の7日前~2日前	前日	当日(右記除く)	旅行開始以降及び無連絡不参加
	30%	40%	50%	100%



お申込・お問合せ

アルファトラベル株式会社

京都府知事登録旅行業第2-503号(一社)全国旅行業協会正会員

〒604-0924 京都市中京区河原町通二条下ル一之船入町375 SSSビル4階 担当:森野茂

電話:075-256-8377 受付時間:平日9:30~18:00/土曜日9:30~12:00/日・祝休日

主催:林業女子会@京都 共催:京都ベレット町家ヒノコ

お申込みはこちら →



協力:

京都市、京都府、京都森林・木材塾、京都中小企業家同友会・建設関連産業部会、(一社)京都府森林組合連合会、(公社)京都モデルフォレスト協会、NPO法人京都・森と住まい百年の会、(一社)森の京都DMO、上桂川地域活性化協議会、森民(林業女子会@南丹)、やまぐに、(一社)リリース、林業女子会@花背

本ツアーは、林野庁「木の文化の発信・木のおもてなしの提案」事業の補助を受け実施いたします。

木の文化とサスティナビリティ

日本は古来より生活のあらゆる場面で木を使い、木に親しんできました。同時に、木を育む山も身近な存在であり、木を伐って、植えて、世話をし、また伐る、というサイクルが約 50 年のスパンで繰り返されてきました。その営みの根底にあった想いは「孫の代で使う資源を、自分の代に植える」という先を見据えた自然観。このサスティナブルな考え方こそが、木の文化を守り続けてきたのです。自分だけではなく、後世もずっと豊かであるように、という山の恩恵を受け生きてきた人たちの祈るような精神性を感じることができます。



北桑木材センター(京都市右京区京北)

古くからの林業地、京北の林業振興を目的として創出した国産材専門の木材市場。木材生産者と買い手を繋ぐ場となる市は月3回、6日、16日、26日に開かれます。



有斐斎弘道館(京都市上京区)

江戸中期の京都を代表する儒学者・皆川淇園(きえん)が開設した学問所址に建てられた数寄屋建築と庭園。

現在は学問、文化のサロンとして利用されています。



京都北山杉の里総合センター(京都市北区)

北山杉・北山丸太の生産地である北山林業地域の振興を目的に、平成22年にオープン。

様々な種類の北山丸太や北山杉にまつわる展示、京都の木材をふんだんに使用した施設。

都を支えた豊かな森「丹波・北山」

平城京の時代から丹波・北山地域の豊かな森と保津川の水運が結びつき都を繁栄させてきました。これらの地域を巡ると、旺盛な木材需要を支えた巨木群や北山杉の磨き丸太、里山の原風景が当時の姿そのままを残しています。また保津川の水運は、遊船事業として今もなお、人の手による航路の管理や操船技術が継承されています。全国でも稀有な川文化もまた、京の木文化とは切り離せない存在です。



原田銘木店(京都市右京区京北)

茶室などの数寄屋建築には欠かせない名栗(なぐり)加工を専門に行っています。名栗とは京都で生まれた伝統的技術。現在、名栗を手加工できる職人は全国に数名程しか存在しません。



社寺建築奥谷組(京都市南区)

明治6年創業以来、社寺建築を専門に手掛けています。木材の確保、備蓄、乾燥、製材から加工、取付まで、木工事のすべてを自社直営の工匠によって行うシステムを確立しています。



講師：桐浴 邦夫氏

京都建築専門学校副校長、建築史家

茶室や数寄屋の研究、伝統建築の保存活動に取り組む。古材文化の会理事、擁翠亭保存会代表。著書に『茶の湯空間の近代』『近代の茶の湯と数寄屋』『茶室設計』『茶室露地大事典』(共著)他

主催団体

林業女子会@京都

2010年に発足した森や木を愛する元気な女性たちの有志団体。チェーンソーを巧みに操る人や、木工品を作り販売する人、純粋に木が大好きな人など、木に関することなら川上から川下まで様々なメンバーが得意を生かして活躍中。

2019年、林業女子会@京都内に「もりたび部」が誕生し、森や木に関するツアーを企画・開催しています。

全国の林業女子会

<https://forestrygirls.wixsite.com/portal>



共催団体

京都ペレット町家ヒノコ

京都の山と街の人とを繋ぐお店になりたい、そんな想いで2010年にオープン。暮らしに木を取り入れることやみんなの目が山に向くことが、森を元気にする第一歩だと考えています。店内では薪や炭、ペレットなどの木質燃料と、日本の木から作られた雑貨を販売。

木や火を現代の暮らしに活かす方法やアイデアを日々発信中。冬はペレットストーブを燃焼展示しています。林業女子会@京都の拠点はここ。

京都ペレット町家ヒノコ

<http://www.hibana.co.jp/kyoto-pellet/>

